

平成27年第3回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成27年9月16日（第9日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 1番 | 川崎一平 | 11番 | 井崎好信 |
| 2番 | 前田弘次郎 | 12番 | 大串弘昭 |
| 3番 | 溝口誠 | 13番 | 内野さよ子 |
| 4番 | 大串武次 | 14番 | 西山清則 |
| 5番 | 吉岡英允 | 15番 | 岩永英毅 |
| 7番 | 草場祥則 | 16番 | 溝上良夫 |
| 8番 | 片渕栄二郎 | 17番 | 久原房義 |
| 9番 | 久原久男 | 18番 | 白武悟 |
| 10番 | 秀島和善 | | |

2. 欠席議員は次のとおりである。

6番 片渕 彰

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

| | | | |
|--------|------|-----------|--------|
| 町 長 | 田島健一 | 副町長 | 百武和義 |
| 教育長 | 江口武好 | 総務課長 | 本山隆也 |
| 企画財政課長 | 片渕克也 | 税務課長 | 吉原拓海 |
| 住民課長 | 渕上隆文 | 保健福祉課長 | 井崎直樹 |
| 長寿社会課長 | 片渕敏久 | 生活環境課長 | 門田藤信 |
| 水道課長 | 山口弘法 | 下水道課長 | 堤正久 |
| 産業課長 | 鶴崎俊昭 | 6次産業専門監 | 矢川又弘 |
| 農村整備課長 | 大串靖弘 | 建設課長 | 荒木安雄 |
| 会計管理者 | 小池武敏 | 学校教育課長 | 小川豊年 |
| 生涯学習課長 | 松尾裕哉 | 農業委員会事務局長 | 一ノ瀬美佐子 |
| 代表監査委員 | 吉村秋馬 | 農村整備専門監 | 喜多忠則 |

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長 吉岡正博
議事係長 久原雅紀
議事係書記 香月良郎

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第42号 平成26年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について
(産業建設部門の質疑のみ)

日程第3 議案第45号 平成26年度白石町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第4 議案第46号 平成26年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第5 議案第47号 平成26年度白石町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

日程第6 議案第51号 白石町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について

日程第7 議案第53号 平成27年度白石町一般会計補正予算(第3号)
(産業建設部門の質疑のみ)

日 程 第 8 議 案 第 5 6 号
平成27年度白石町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)

日程第9 議案第57号 平成27年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第1号)

日程第10 議案第58号 平成27年度白石町水道事業会計補正予算(第1号)

9時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、片渕栄二郎議員、久原久男議員の両名を指名します。

本日の議事進行について申し上げます。

本日は産業建設部門の議案を審議します。審議は、質疑、討論、採決の順で行います。なお、「平成26年度一般会計歳入歳出決算」及び「平成27年度一般会計補正予算」は質疑のみにとどめ、最終日に討論、採決を行います。

日程第 2

○白武 悟議長

日程第 2、議案第42号「平成26年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」の産業建設部門を議題とします。

これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、決算書の何ページ、決算説明資料の何ページとはっきりお示しをください。

まず初めに、ページ 1 ページから42ページ、歳入合計までの産業建設部門について質疑ありませんか。

○吉岡英允議員

おはようございます。

質問、お尋ねをさせていただきます。

ページ数15ページでございます。15ページの3節ですか、住宅使用料というなことで、収入未済額が46万7,200円というなことで、これ多分住之江住宅のことかなと思いますけども、その説明と対象、今後です、未済額ですので、どうするのか、その辺の説明をお願いいたします。

○荒木安雄建設課長

議員おっしゃいます住宅使用料の収入未済額でございますけれども、ここに上がっております収入未済額については、過年度、現年度分の住宅使用料の収入未済額でございます。それで、今年度については、今現在のところ今年度の滞納額はございません。

先ほど言われましたことしの3月に起こりました火災のあったところにつきましては、保証人さんとが納入をされまして、その分は納まっているところでございます。

しかしながら、過年度分は若干まだ収入未済額がございますので、今後町職員で徴収に邁進してまいりたいと思っております。

以上です。

○吉岡英允議員

わかりました。住之江住宅じゃないというなことで、意味はわかりましたけども、やはり具体的にどがん徴収方法をとろうと思っておられるかですよ。やはり町営住宅に住んどつても、お金を払う人と払わん人というなことで、いかん、不公平が出てくるんじゃないかなと思います。また、この46万円納めてない方は、現にまだ町営住宅に住まれてあるとですか。もう退去されてあるとですか。

○荒木安雄建設課長

議員の質問については、まだ町営住宅には住んではいらっしゃいます。一応うちのほうも通知して、なるべく早く納入していただくように催告しているところでございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、歳出に入ります。

ページ数53ページから56ページまでの地域づくり推進費の中の産業建設関係及び4款衛生費、5款労働費、ページ数で94ページの上水道費から96ページの農林水産業費の前まで質疑ありませんか。

○秀島和善議員

説明報告の資料から1点お尋ねをします。

ページ数54ページです。地域おこし協力隊推進事業ということで、30万7,000円が決算として上がっています。宣伝をしていくということ非常に大事なことだと思えますけれども、2の事業実績に名古屋市交通局が発行を協力するタウン情報誌「クラブナゴヤ」で、新鮮情報ということで掲載ということですが、このことによる波及はどのように生まれてるのでしょうか、お尋ねを申し上げます。

○矢川又弘 6次産業専門監

秀島議員のほうから名古屋市「クラブナゴヤ」の新鮮情報ということで、掲載の件につきましてお尋ねがありましたけれども、関東圏のほうはビッグサイトのほうでPRができましたけれども、なかなか中日本を中心としたところの情報が薄いんじゃないかということで、それと大手の新聞よりもはるかに安く情報を提供できるということで、名古屋のほうを中心としました掲載をお願いしたところですが、その波及効果というのは、済みません、募集で来て、相談件数とかがありましたけれども、具体的に何件というのは、済みません、数字は持ち合わせておりません。

以上です。

○秀島和善議員

この情報誌は、発行部数はどのくらいなのでしょう。

○矢川又弘 6次産業専門監

済みません。部数、済みません、後もって報告をしたいと思います。よろしくお願ひします。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、次に6款農林水産業費、ページ数96ページの農業費から102ページの畜産費まで質疑ありませんか。

○溝口 誠議員

決算書の99と100ページでございます。説明資料が55ページ、農業振興費の6次産業推進事業の中で、この中で特産品を活用したメニュー開発委託、商工会委託、しろいしみのりちゃんカレー開発ということで、これは商工会に20万円の委託をされてます。20万円といわば大きな金額に対してカレーの開発ということで、この辺の御説明、実現できたのか。そしてまた、できたものをどうPRをされているのかと、そこら辺をひとつお聞きしたいと。

それからもう一つは、商談視察及び販路開拓ということで、この30万9,100円、佐賀、福岡、熊本、東京、販売のPRということで、その中身について説明をお願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

溝口議員の1点目の特産6次産品活用開発業務委託ということで、20万円を計上いたしてあります。これは、商工会さんに白石の特産物を使っていただいて、産品を開発していただくということで委託をいたしております。ここにカレーのレシピとかは持ってきておりませんが、しろいしみのりちゃんカレーというのをつくっていただきました。その中に白石産のタマネギ、それから白石産のイチゴ、それから白石産のノリ等を入れていただいて、白石の元気のたまご開所1周年の式典がっております。そのときに披露していただきまして、このレシピのPR、産品のPRとレシピの公開をしたところであります。が1点目であります。

それと、2点目のページ、説明資料の55ページのところでございますけれども、視察等ということでどういった内容かということのお尋ねですけれども、一番大きなものとしましては、この販路開拓のために毎年フードコレクションというのが11月ごろに行われてます。そのところに2名を派遣しました。それと、福岡の国際センターにFood EXPO in九州というのがありまして、それと九州食の展示 in くまもと、それから3月26日に佐賀の白石特産物フェアを行っております、その出席。それから、事前に道の駅たかの昨年職員のほうが出かけております。

以上のような視察を重ねております。

以上です。

○溝口 誠議員

先ほどしろいしみのりちゃんカレーの開発ができたということであります。この20万円という金額、1つのカレーという、1つの品目に対して20万円という金額、これは実際開発に要った費用なのかどうか、どうでしょうか。

○矢川又弘 6次産業専門監

溝口議員の20万円というお話であります。

確かに、材料費だけですと非常に安価で、材料費だけですと決算額7万2,000円ぐらいとなっております。ですけれども、その後にPRをしていただいております。それと、そのマスコミ関係に来ていただいていたので、その分のPR費

が少し多かったということで、トータル的に20万円の委託金ということで交付をいたしております。

以上です。

○吉岡英允議員

済みません、私もこのみのりちゃんカレーを聞こうと思っておりましてけども、やはりつくったは何も食うところはなかなかPRにならんとですよ。実際、開所式するとき私もカレー食べました。本当おいしいなと思って、がんとば、こがん開発費が出るとは私知らんやっただですよ。知らんと食べました。食べてみたところ、本当おいしかったです。ああよかねと思ったりしましたけども、これを決算書、報告書を見よう、お金が出とったというふうなことで、出たならば、やはり食べるとこ場つくってください。食べるとなかになんか、何もつくっても意味なかですよ。

終わります。

○矢川又弘 6次産業専門監

今吉岡議員から御指摘ありましたように、完成しておりますので、これにつきましては商工会さんにレシピ等を再度確認させていただいて、6次産品化のほうに努めていきたいと思っております。

以上です。

○大串武次議員

同じところでございますけど、説明資料の55ページ、6次産業推進事業でございますけど、事業実績で加工試験機導入とございますけど、野菜乾燥機から急速冷凍庫まで、これどこに保管がしてあるのか。

それから、6次産業推進事業補助金交付で9事業者10件の事業採択がなされております。説明会するときも幾らか商品の説明を受けましたけど、実質商品化がなされ、販売がなされている品物を公表といいますか、教えていただきたいと思っております。

○矢川又弘 6次産業専門監

今、大串武次議員の御質問にお答えいたしたいと思っております。

備品購入費としまして177万120円ということで、実績を決算を報告しておりますけども、その種類としましては野菜乾燥機、卓上型の真空包装機それからフードプロセッサ、それから製粉機、それから急速の冷凍庫ということで、各1台購入をいたしております。

保管場所としましては、やっぱり調理するところということと、それから保管のスペースが要りましたものですから、干拓館に保管をいたしております。

本当にPR不足だなと思っておりますけども、この機械を使っていただいて、6次化するとき、具体的に商品化する前、機械を購入される前に使っていただくということで保管をしております。

6次産品の具体的な品物ということでありますけども、6次産品が9事業者10件で

きておりますけども、26年度タマネギドレッシング、タマネギの皮茶、レンコン茶、それから精米、真空パックで名刺にされてる分だと思います。それと、レンコンのパウダー粒、菜種油、ドレッシング、それからドライのイチゴ、それからイチゴジャム、それから竹パウダーということで開発をしていただいております、これも御指摘どおり、非常にPR不足だと思いますけども、一応直売所では既に販売をさせていただいております、3月に行いました東京フェアの際もこの産品、それと1月に大野城で佐賀うまいものフェアというところを開催しておりますけども、そのところで販売をいたしております。

以上です。

○片渕栄二郎議員

決算書99ページ、19節の青年就農給付金、これは前年度、いわゆる25年度の決算と比較をいたしますと2倍強になっております。ということは、給付者の増と考えられますので、実態をお尋ねいたします。

100ページ、13節委託料、白石町農業振興地域整備計画策定業務委託料ということで280万円上がっておりますけれども、この進捗状況をお尋ねいたします。

同じく100ページの19節負担金補助及び交付金の中で、農業経営基盤強化資金利子補給金でございますけれども、どういう資金の利用をされているのか、どういう方が資金の利用をされているのか、お尋ねをいたします。

101ページの8節報償費、農地売買あっせんについて、26年度中のあっせん件数をお尋ねいたします。

以上、4点をお尋ねいたします。

○一ノ瀬美佐子農業委員会事務局長

お尋ねのあっせん件数ですけれども、26年度は43件でございました。

○鶴崎俊昭産業課長

まず、99ページ、青年就農給付金の件でございます。決算の説明資料48ページを開きいただいて、まさに先ほど修正をした部分でございます。

これにつきましては、そこに書いておりますように、原則45歳未満の独立自営就農者、ただ親元就農については外しております。そういう方に、年間150万円を給付するというところでございます。これを5年間給付いたしますが、所得が250万円以上になった場合、そのときは給付をしないというようなところでございます。

それから、事業実績のところでございます。

その表につけております26年度支給人数が13人、金額としまして1,500万円で、ここに1年から5年まで書いております。この読み方としまして、ちょっとわかりにくかったんですが、残りの給付期間ということで、2名の方はあと一年及び1年未満給付期間が残ってる。5年のところは、あと5年間給付期間が残ってるということで、26年度認定されたばかりの方でございます。残り1年の方が2名、これは金額が示すとおり、75万円が2名です。2年のところが、150万円が1人、3年のところ、150万

円がお二人、4年のところ、これは150万円が3人、それから75万円がお一人、5年のところ、ここは夫婦の方がいらっしゃいます。御夫婦につきましては、150万円の1.5倍ということで、225万円の支給をいたしております。御夫婦ですが、2人とカウントいたします。225万円をその御夫婦のところへ、75万円をお二人のところへ、375万円という金額でございます。

満額は150万円ですが、75万円という方がいらっしゃいます。これにつきましては、所得制限により前期だけ、半分の支給をされた方とか、27年1月に認定されて、その26年度は半分の75万円という方といらっしゃいまして、75万円ということでございます。

それから、農業振興地域整備計画の御質問でございます。

これにつきましては、100ページ、これは24年度から26年度、昨年度で事業を完了いたしております。農業の振興を図る上で、この整備計画の見直しということで取り組んでまいりました。26年度、昨年度最終年度ということで、庁舎内にLANを組み込んでおりますGISに組み込んでその成果を出しております。また、成果分といたしまして、その3年間の地域見直し計画を成果分として完工をいたしております。

それから、農業経営基盤強化利子補給金でございます。

これにつきましては、認定農業者が対象というふうになっております。この手順といたしましては、町の融資制度推進会議というものがございまして、それに諮って審査会をし、貸し付けを行っているところでございます。

以上でございます。

○片渕栄二郎議員

この農業経営基盤強化資金に関しては、認定農業者を中心としたということなのでございますけれども、何名さんの分でしょうか。

○鶴崎俊昭産業課長

26年度につきましては、法人が2つ、それから個人6人ということで、8件の実績がございます。

以上です。

○草場祥則議員

溝口議員と吉岡議員の関連でいきますけど、この問題は6次……。

○白武 悟議長

ページ数何ページでしょうか。

○草場祥則議員

はいっ。

○白武 悟議長

ページ数。

○草場祥則議員

関連でいいですか。

○白武 悟議長

いや、だから何ページ。

○草場祥則議員

カレーの分ですね。（「55」「説明して」と呼ぶ者あり）55、55。（「説明して」と呼ぶ者あり）済みません。これ……（「説明して」と呼ぶ者あり）説明資料は55ページです。こっちばかり見よもんで、済みません。

これは、やっぱり今後6次産業化するとき非常に考えてもらいたい問題だ、そういうに思います。私も一般質問で言いましたように、ある人がイチゴの入ったカレーばつくってくれと言われたばつてん、売るところなかなか、どがんもさるもんかというようなことを聞いて、ですから商工会に丸投げじゃなくてですよ。丸投げってひどいか言葉か知りませんが、いろいろ食堂もあるけん、そういうなこともまた連携をするような指導をして、せんとつくったは別に売るところなかはというようなことではつくる人もまたつくる気らんとするわけです。その指摘は私も受け取りましたので、この前一般質問の中でちょっと言いましたけど、ですからまずそういうふうな段取りをとってせんと、もう商工会に20万円やってつくってくれろと、そういうことでさばかしては何もならんって思うわけです。ですから、それで今吉岡君はうまかったと言いはつてん、うまかカレーはいっぱいあるけん、やっぱそこら辺はある程度特色つけてせんと。

この前大前研一さんの講習に行って、佐賀の虹の松原、おれ達は虹の松原て言うばつてん、あんぐらいの松原、日本全国どこでもあるて。それから、ハウステンボスも、やっぱし今は皆さんが飛行機に乗って本物のオランダを見に行きよつとけえ、何でそがんにせもんのオランダを見や来つかということで、今のハウステンボスを見よつたら全然もうオランダ調を出しとらんわけです。あの人が言いたいのは、個性を出すのと、それからやっぱ本物じゃないとだめだと、今からはです。

というなことで話を聞いたわけですけど、そういうことでとにかく商工会にやつとけんなというなことじゃなくて、私も以前言いましたように、また先までのフォローをしてやってほしいと、そういうに思います。今後やっぱり6次産業化をする上で非常に重要なことだと思いますから、ひとつよろしくお願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

今、また草場議員のほうからやっぱり本物の産品じゃないと来てもいただけないし、売れもしないという御指摘ありました。確かにそのとおりだと思います。

今回お願いしてたのが、私たちのほうが情報発信を行ってなかったというのはありましたので、積極的にこれからはフェイスブックなり、それからみのりちゃん通信と

いうのもありますし、各販路拡大のある事ごとに説明を、紹介をしていきたいと思っております。

それと、済みません。先ほど秀島議員からお尋ねがありましたクラブナゴヤの部数の件でありましたけども、30万部という発行部数だそうです。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありま……。

○西山清則議員

説明資料の55ページですけども、販路拡大のためにあちこちでPRしていつてるといふことでもありますけれども、この開発商品の実績がわかればお聞かせ願いたいと思いますけど。

○矢川又弘 6次産業専門監

6次産品の実績といふことでもありますけれども、済みません、今のところこちらのほうが売り出したばかりですので、今具体的に数字が幾らといふのは持ち合わせておりませんので、各事業さんにどれくらい出たものか確認をしたいと思っております。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○大串武次議員

決算書の100ページですけど、19節負担金補助及び交付金の中で有機栽培振興事業補助金が66万5,993円、支出されてるわけですけど、この対象者といひますか作物といひますか、どういふ内容なのかお伺いしたいと思ひます。（「決算書、あれ」と呼ぶ者あり）

○白武 悟議長

決算書でしょ。（「決算書です」と呼ぶ者あり）

○鶴崎俊昭産業課長

お尋ねの100ページ、有機栽培振興事業費補助金でございます。

これにつきましては、安心・安全な農産物の生産拡大を図るため、土づくりの推進といふことで、町内に住居を有する方が堆肥センター及び町内の畜産の、だから年間を通じて4トン以上の堆肥を購入した場合に補助といふことで、トン当たり1,000円を補助金として出してあります。事業主体としまして、補助金の交付先としまして、町内の農協9支所のほうへ支出をいたしてあります。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○川崎一平議員

同じく100ページです。先ほどの大串武次議員との関連ですけれども、これ有機栽培という言葉で表現されておりますけれども、堆肥を使うだけで有機栽培という言葉で区別していいのでしょうか。これJAS認定を取ってなくて、有機栽培、有機栽培ってなかなか私たちが農業やってる中でも使えない言葉なんですよ。私たちの表現の仕方では減農薬とか、そういった言葉の難しさというところがあって、やはりJAS認定を取ってないと有機栽培という言葉がなかなか使えない状況で、こういう有機栽培という表現だと誤解を招くようなことが多々あると思うんで、その辺どうお考えでしょうか。

○鶴崎俊昭産業課長

今御指摘をいただきました単に堆肥を使うということで、有機栽培という言葉自体はいかながなものかということでございます。

私も、これにつきましては単純に有機栽培という把握をしております、先ほどおっしゃいましたJAS認定等々は知らなかった次第でございます。この名称が誤解を生むようでありましたらいけませんので、この補助金の名称につきましては検討をいたしたいと思っております。ただ、27年度、今年度につきましてはこの名称で補助金も予算化をいたしておりますので、検討の結果で28年度適切な名称が変更できるか検討をしてみたいと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○久原房義議員

まず、決算書の99ページ、農業振興費の中の野菜残渣適正処理対策協議会委員報償費というのありますけれども、ちなみにこのタマネギ等の野菜残渣の適正処理については積極的に取り組むんだということで、恐らく500万円以上の委託費を出しながら、事業化を目指して適正処理に取り組むという方針でやっておられたというふうに思っておりますが、非常に多額の500万円以上の委託費を使いながら、その結果がどうであったのか、成果です。どうも今頓挫してるような感じでございます。多額の予算を使いながら、本当に末端まで残渣の適正処理に対してどれだけの効果があったのか、そこら辺をお尋ねしたいと思いますし。

次に、農業委員会局長にお願いしたいと思います、101ページ、農地保有合理化推進事業費の中で、昨年から特に経営転換協力金でありますとか農地利用集積円滑化事業費の補助金でありますとか、というのが決算で出とるわけですが、その成果、この金額的な、補助金だけの金額は出ておりますけれども、その内容です、どれだけの

効果があったのかということをお尋ねしたいと思ひますし。

それとあわせて、最近荒廢農地がどうもふえてきておるような感じを思ひております。いろいろさまざまな原因はあろうと思ひますけども、そういった荒廢農地、遊休農地です、に対しての指導、そういった面での26年度取り組まれた実績等があれば教へていただきたいと思ひますが。

以上です。

○鶴崎俊昭産業課長

議員御指摘の野菜残渣適正処理対策協議会につきましては、今回補正でも予算をお願いしております。これにつきましては、26年3月に発足をいたしまして、1年間検討してまいりました。ただ、結果的に意見書といいますか、まとめの形で公にはできずにおります。まさに休止状態ということでございます。それで、このままではいけないということで、また予算化づけをして、最終的にきちとした結論を出したいと考えております。

御質問の中の委託調査でございますが、FS調査につきましては、結果的には堆肥化と焼却というのが一番よい方法という結論は得ております。ただ、どちらにつきましても施設が必要になってまいりまして、この野菜残渣適正処理対策協議会の中でも施設はどうするのか、自前でつくるのか、それをもしつくれたにして農家がそこまで持ち込むのか、手数料は払うのかというような等々問題がいろいろと出てきておりまして、最終的なこれにしたほうがよいという結論は出ずじまいで、当時そのまま終わっております。ただ、今後につきましては、前、町長申し上げました杵藤衛生処理場の施設関係もでございます。そういう点を含めまして、この協議会で最終的結論を出してまいりたいと思っております。

以上です。

○一ノ瀬美佐子農業委員会事務局長

今、農地利用円滑化事業の補助金についてでございますが、これは農地利用集積円滑化団体JAさがに対し補助をいたしております。JAさがの取扱件数、26年度の取扱件数は399件、面積にいたしまして約216ヘクタールでございます。27年3月31日現在のJAの保有量といたしましては1,766件、面積といたしましては775万8,542平方メートルでございます。

遊休農地対策につきましては、農業委員会といたしましては年2回、大体8月と2月を中心に農地パトロールを行っているところでございます。遊休農地に対しましては、所有者のほうに担当地区の農業委員が訪問いたしまして指導をしたり、行っておりますが、なかなか所有者の意向もございまして、解消ができていないというところもございます。

以上でございます。

○久原房義議員

まず、野菜残渣の適正処理です。

ちょっと記憶が定かでないかもしれませんが、恐らく500万円ちょっとだったと思います。委託費を出されたわけですが、本当にそういった多額の金を委託して何の結論も出ないと。どうも頓挫しとる、ほんで事業化を目指すんだということで我々には説明をしたと思うんですよ。それも事業化も、最終結論はまだということでしょうけれども、ただ事業化は難しいと。それで、なぜそういった多額の金を使いながらわざわざ委託をしなきゃいかんようだったのか。第三者にいろんな方法を考えてもらうということよりも、むしろ皆さんなり、あるいは地域の皆さんなりでもっともっと知恵を出し合って、何とかこの適正処理ができるような方策を考えていく、そこしかないんですよ。幾ら委託を、多額の金を出して委託したところで、ほとんどこういうことに恐らくなるだろうと私は予測しておりました。

私も以前そういったことで取り組んだ経験もございますけれども、行き着くところは農家個々のやっぱり適正な処理をお願いするほかないと。とてもとても事業化なんて、これできるもんじゃなかわけ。ただ、理論的にはできますよ。ただ、ただ本当にそれが現実的にできるかということ、それは相当難しい。ですから、わざわざ委託なんかしないで、やっぱり皆さんの知恵でここは適正処理を乗り切るということに恐らく、恐らく最終結論を出すと言われておりますけれども、そういうことにしか行き着かんと思います。五百数十万のお金が何だったのかと。決算ですから、いろいろな方面に予算を使って、その効果なり成果、そこを、そこをやっぱり我々は見きわめながら認定するのか否かということに行き着くわけですから、本当にそこら辺はせつかく大事なお金を、税金を使うわけですから、非常に効果のあることに、これはもうここだけの問題じゃございませんけれども、全てに言えることですが、そういったことにひとつ十分気を配っていただきたいというに思います。

それと、農業委員会の荒廃農地の年2回パトロールをされておるということですが、なかなか解決には非常に難しい面もあろうかと思っておりますけれども、ただ農業委員さんだけに任せていいものなのかです。やはりもともとこれ地域の全体でいろいろ取り組んでいかなくちゃあなかなか解決しないという。ただ、口先だけで立派にしてくださいよと、もちろんその指導も最初は必要でしょう。しかし、なかなかそれが聞き入れていただけないというのが現実かと思っております。それならば、次にどういったことをするかということになれば、やっぱりその地域でのいろんな話し合いです。そういったところまでやっぱり踏み込んだ指導をやっていかないと、一向にこれは解決せんと思う、だから。そういったことももう一段の、ひとつ産業課なり農村整備課も関連すると思っておりますけれども、そういったことの指導を、ただ表向きの小手先だけの指導じゃなくて、本当に末端に入って行って、皆さんの知恵を出して、ぜひ取り組んでいただきたいというに思います。

以上です。

○鶴崎俊昭産業課長

ただいま議員の御指摘がございましたように、多額の委託をして、コンサルをお願いし、その結果を十分生かし切れていないのはもう現実でございます。新たに協議会発足といいますか、再開という言葉が適切かどうかですが、いたしまして、その

調査結果を踏まえた、また今回御質問いただいた内容等踏まえて、この協議会を開催してまいりたいと思っております。

以上です。

○一ノ瀬美佐子農業委員会事務局長

荒廃農地の件でございますが、農業委員会といたしましても、農業委員が地区の農地水の役員さん等と話をされて、所有者の了解を得て草払いをされたりとか、いろいろされているところもございますし、私たちが農村整備課と協議をいたしまして、対象地であればその中でどうにかできないかとか、対象外地であればどうしたらいいかという協議は行っているところでございます。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○秀島和善議員

1点だけ。

説明報告の資料でお尋ねをいたします。

ページ数が47ページです。親元就農促進支援事業ということで、50万円決算が上っておりますけれども、この1の事業概要で、⑤として白石青年実業会に加入しており、積極的に活動を行う者ということで、会の現在の会員数、また年間通してどのような活動をなされている組織なのか、お尋ねを申し上げます。

○鶴崎俊昭産業課長

説明資料の親元就農促進支援事業に関しまして、白石青年実業会のまず現在の人数でございますが、37名の会員で、活動内容につきましては、昨日も行いましたまず身近な例で、子供たちのレンコン掘り体験というような、子供たちに農業に親しむ活動等もございます。

一番大きなものにつきましては、まさに農業青年者の集まりでございますので、農業技術等の研究、調査、そういうものも行っております。また、農業青年者の意見発表会という場もございまして、地区、県下等でそういうイベントもございます。また、交流といたしまして、他町の青年農業者との交流、また視察して農業の研究等にいそしむというような活動をいたしております。この人数、他町に比べてもう断然に多いわけでございます。特に青年実業会、今後の白石町の農業のために大いに期待をいたしてるところでございます。

以上です。

○秀島和善議員

今のところでもう一点だけお尋ねします。

会への町からの補助がありましたでしょうか。ちょっと私全部見通すことができない

くてわからなかったものですから、この実業会に対して町からの補助が幾ら出されるのでしょうか。

○鶴崎俊昭産業課長

決算書の99ページ、そこの農業総務費の負担金補助及び交付金のところで、農業新経営者助成金56万8,000円の決算がございます。この金額を青年実業会に助成金として出しております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようでございますので、次にページ数102ページの農地費から109ページのため池等整備事業費まで質疑ありませんか。

○大串弘昭議員

ページ数は104ページでございますけれども、その中に負担金補助及び交付金ということございまして、国営筑後川の関係で排水分とそれから用水分ですか、その償還の金額上げてございますけれども、これについては本年度でしたか、起債の組み替えにより一括して償還するというようなことだったと思いますが、そこで町長にちょっとお尋ねをしますけれども、町長、今白石土地改良区の理事長をなされておると思いますが、ちょうど6月12日付で白石土地改良区の経常賦課金の納入についてというなことで、これが各農家のほうに配布をされておりますが、その中で町内一円が2,500円、これは事務費、用水管理費あるいは維持管理費含めて、変更前は2,700円が2,500円に減額されておりますが、その中で本年度より新たに国営事業の償還が始まり、10月に賦課金徴収の予定をしております。こういうなことでございますが、この件については、以前平成23年11月に筑後川下流土地改良事業の概要と地元負担というなことで説明あつとります。

そういう中で、平成20年の償還対策の説明ということで、対策の説明では特別会計、いろいろ一般会計、あるいは維持管理費というふうなことございまして、20年の時点では水田・畑作経営の安定対策、ことの支援事業の適用を受けたということで、この一般会計の分から300円だけを減額されるというなことでございまして、その当時は2,400円から300円引いて2,100円で農家負担をお願いするというな説明であったと思います。そういうことで、この10月からの償還というのはその金額ということでいいのでしょうか。その辺お尋ねします。

2,500円と2,100円、これ合わせまして4,600円になるわけですが、この金額が農家の負担の金額になるのか、その辺についてちょうどおわかりになったら、農村整備課長でも結構ですが、その点についてお尋ねします。

○田島健一町長

詳細なこと、具体的数字は後で課長のほうからも答弁させたいと思いますけども、これまでの土地改良での話の中では、先ほど言われましたように、經常賦課金等、工事費の負担というのが大きく変わりました、工事費についても地区ごとによって違って来たかというふうに思います。それを決めるに当たっては、いろいろまた再計算をして、先ほど言われましたように、平成20年ぐらいに1回提示をしとったかもわかりませんが、もう一回見直しをして、今回びしっと工事賦課金については見直しをして、ブロックごとに、地区ごとに変えていったというふうに記憶をいたしております。

○大串靖弘農村整備課長

まず、104ページの償還金につきまして御説明をさせていただきます。

筑後川土地改良の配水分ということで、この分につきましては有明水路と有明の1、2、3号の排水機場の分の償還でございます、この分につきましては農家負担はございませんで、町の負担で償還をずっと、26年度で終わりました。これは、この分で終わりです。

それから、特別会計分の用水分でございます。この分につきましては、これは町の負担分でございます、町の負担分もこの26年度で終了ということでございます。ただ、農家負担分につきましては県が立てかえて払っておりますので、この分につきましてはことしから償還という形になります。その分の利子につきましては、ことしから利子の分につきましては町が今度負担をするというふうになっております。

維持管理費でございますけども、維持管理費につきましては、土地改良区でいろいろ補助等もございまして、軽減措置がずっとなされておりますけども、また再計算とずっとしてございまして、軽減措置、農家の方に負担を少なくするというところでたびたび土地改良のほうで考えられてございまして、軽減がなされてきてるということでございます。

以上です。

○大串弘昭議員

現在は、末端の施設については、当初は四四と言われたのだと思いますけど、今は六二と、町が6で、農家が2というふうな負担割合だと思いますけども、これらのことから今は農家負担を算出されていると思いますけども、一応これが2,500円の今は賦課金で徴収されておりますけども、これは全町一円ということで、町内一円ということでございますけども、それにプラスの2,100円ということになりますと相当な金額になるというようなことで、かなり農家の経営からいっても負担が大きくなるということ、この辺についてをちょっと私が確認をしたいと思うわけですが、1反4,600円になりますと、1町で4万6,000円と、2町で約10万円近くなるということ、かなり負担も大きくなるんじゃないかなということできょうお尋ねをしておりますけども、その辺については再度確認をしてもらって、後もっていいですからびしゃつとしたところの、私はこの2,500円ですつといかれるのかなって思っておりますけども、この内容見よつたら10月より国営事業の償還が始まるということで、

10月に賦課徴収の予定でありますというなことの通知をもらったわけですから、それについて再度ぴしとした報告をお願いをしたいと思います。

それから、もう一点ですが、そこに105ページですか、上げてあります。この土地改良事業の償還金補助金というのが、この辺についての内容、お願いします。

○大串靖弘農村整備課長

この分につきましては、旧白石町の分の土地改良の償還補助でございまして、償還をずっとしておりますけども、その分の補助ということで、通常償還分につきましては償還額の20%補助、それから繰上償還につきましては大体16%の補助ということで、償還につきましては平成33年度まで償還ということで、この分補助をしていくということでございます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

暫時休憩をいたします。

10時30分 休憩

10時45分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

次に、ページ数を109ページの林業費から114ページの商工費の前まで質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

説明資料の65ページ、冷凍保管施設、約2億円かけてつくられて、漁業者の方は喜んでいらっしゃると思いますが、多分これは冷凍保管は11月ぐらいに入れて、3月ぐらいに出されると思います。その後の期間、後の期間に何か、この施設に約2億円もかけてつくりますので、利用されない期間に何かそこを利用してという考えはあられるのか、お聞きします。

○喜多忠則農村整備専門監

漁業経営構造改善事業の件についてお答えいたします。

今回、26年6月5日から10月24日までの工事で実施をしております。御質問の後の期間というお話ですが、基本的にはこの漁業経営構造改善事業ということで、一応ノリの冷凍保管というのが主でございます。そういうことで、ちょっと後の期間についての利用については今のところ検討されていないと思います。済みません。

○川崎一平議員

同じく説明資料65ページです。ここ今関連ですけれども、事業費の中で消耗品費、

消耗品費で65万6,030円とありますが、どういったものに使われてるんでしょうか。

○喜多忠則農村整備専門監

先ほど消耗品の65万6,030円の件についてでございます。

この事業については、補助事業ということでございます。この部分の消耗品については、事務消耗品ということで、コピー用紙とかそういったものでございます。事務的に必要なものということで、補助事業の中で附帯事務費を100万円ほどいただいております。その中で、人件費とそして消耗品、また燃料費、光熱費ということで、これに係る事業の消耗品あたりを計上しております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○草場祥則議員

資料説明書の57ページ、まちおこし事業補助金です。今有明、白石、福富、3カ所で行われておりますけど、入場者8,000名、1万2,000名とかありますけど、これを私は白石のこのグラウンドですね、そこにやっぱ一つ持ってきて、今一生懸命有明、福富やっておられますけど、有明……。

○白武 悟議長

観光費のところ。

○草場祥則議員

違うかな。

○白武 悟議長

はい。

○草場祥則議員

ごめんなさい。

○白武 悟議長

次、次で。

○草場祥則議員

済みません。

○白武 悟議長

しておりますから、やっぱり。（「済みません、いろいろ何じゃ」と呼ぶ者あり）

ほかに質疑ありませんか。（「紛らわしいんじゃ」と呼ぶ者あり）
（「なし」と呼ぶ者あり）
質疑がないようでございますので、次に……。

○喜多忠則農村整備専門監

先ほどの漁業構造改善事業の中のノリの保管ということで私が言っておりますが、基本的にはノリ網の保管ということで、そういったことで補助事業の中で使用することで制約がございまして、ノリ網保管以外のものについては現在のところは利用はちょっと考えておられないということです。今後その辺を、もう少し運用できるかはちょっと検討していかなければならないと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

次に、商工費、ページ114ページの商工費から116ページの土木費の前まで質疑ありませんか。

○草場祥則議員

資料説明の57ページです。今話しましたように、今3カ所でやっておられますけど、それぞれ頑張ってもらってるのは認めますけど、あと一つほかのものを有明地域の祭り、白石地域の祭りというような、ある程度縮小といいますか、そういう感じにして、やっぱりその総合グラウンドかなんかで1つ白石町の祭りだというようなものを1つつくったほうがいいんじゃないかなと私は思うわけです。

ただ、春祭りですか、これはやっぱり見よったら、町外から人を呼ぶ力というのはこれが一番ありゃせんかなと思うわけです。これを1日で終わるというようなことじゃなくて、10日間ぐらいツツジ祭りというような、ツツジ祭りというような感じになして、そのかわりやっぱり白石のグラウンドで白石町の一大イベントとしての祭りをつくると。そして、ほかの有明、福富はある程度地域のいろんな方が努力して今されておりますけど、それを延長して、縮小してでもやっぱり1つ町の中心地でやるというような方法を考えるべきじゃないかと思えます。私はです。

それと、あっちの春祭り、ツツジです。あれは沿岸道路なんかできたら、やっぱり町外のお客さんを呼ぶにはあれが一番力あるんじゃないかなとそういう思うわけです。あれは、ツツジの期間は1週間ぐらいあるもので、あれは1日でやめんで、それから雨の降ったけんということでやめんで、やっぱり1週間ぐらいか10日ぐらいツツジ祭りということで商工会なり協力し合ってやってもらえれば、非常に意義ある祭りになりゃせんかなと思うわけです。1つだけ、町内の白石町の中心地で分けてせんで、何かやったほうが私は効果的と思えますけど、いかがでしょうか。

○矢川又弘 6次産業専門監

今草場議員のほうから3祭りについてお話をいただきました。

この3祭り、これ地域ごとに従来から力を入れていただいて、地域の活性化が図ら

れたものだと思います。それぞれ地域の方の思い入れがありまして、今ただまちおこし運営委員会というところでそういった議論を行っていただいております。この中で、そういったことができないものか検討をしていただければなと思います。

それと、春祭りの10日間ぐらいということでお話をいただきましたけども、その運営方法が可能であるかは検討させていただきたいと思っております。なかなか10日間となりますと、人的にかなりの人数が、配置数が必要となってきますものですから、その分もあわせて検討をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○草場祥則議員

有明にしても福富にしても、プログラム見たら大体毎年マンネリといいますか、同じような行事で、それと福富の場合はもう毎年寄附を募ってまわるというなことで。

それと、春祭りのほうは、そういうふうな町が絡まなくても、商工業者であるそこへ店出しとしてそれでよかもんで、祭りは1日すると。そうして、後はもうあそこに店を出して、お客さん来てもらうというなことで、方法でしたら10日間でもできりゃせんかなと思うわけです。そりゃみんなが10日間いたって、それはもう無理ですから、そういうなことじゃなくて、一つの春のツツジ祭りというのは、やっぱりよそから人を呼ぶのは最適なグッズじゃないかなと、そういうに思うわけです。

以上、そういうことですから、ひとつよろしくお願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

草場議員のほうからお話をいただきましたものですから、やはり春祭りの歌垣の場所は日本3大歌垣の一つということで非常に有名であります。26年度は雨のために中止になりましたけども、1日で大体3,000人から4,000人来場していただいていると思っております。大きな宣伝効果にもなりますので、その商工業者の皆様と協力してできるものか、商工会さんと連携を図って検討していきたいと思っております。

以上です。

○吉岡英允議員

決算書115ページです。説明資料の56ページお願いいたします。

商工振興費の白石ブランド確立対策事業についてをお尋ねをいたします。

この説明資料を見ておりますと、支出の項で、一番下のほうに(6)というふうなことで、その他というふうなことで、133万9,000円というふうな金額が上がっております。それで、その他が何なのか。また、一応これ説明資料ですので、これ見よぎんですよ。この支出の項を見よぎん、この総計の627万3,000円で見よぎん、太か数字なんですよ、その他が、この中では。1が137万円でしょ、137万8,000円、その次が下のほうにその他で133万9,000円というなことで、説明資料ですので、その他で隠さんですよ、空きスペースはまだいっぱいあるけんですよ、こういうばあって書いてもろうてよかった思うとですよ、その他に何なんって。このようにするけんが聞かんばらんけんですよ。解るごとにしてください。よろしく申し上げます。

○矢川又弘 6次産業専門監

今吉岡議員の御質問ですけど、まさに私もそのとおりだと思っております。反省いたしております。

その他の内容なんですけども、実は26年度から東京都庁で白石の特産物フェアというのを行いました。その事業がそのうちのうちの128万4,607円でした。ほとんどの占めますので、この書き方には済みません、次年度以降注意をしていきたいと思っております。以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○秀島和善議員

説明報告資料のページ数56ページのところです。白石ブランド確立対策事業ということで、結構なことですけども、ここの事業実績で2つお尋ねします。

(3)として、米の消費拡大対策事業として、小学校、中学校、括弧して10校での消費拡大宣伝活動というふうに明記されますけれども、現在は小学校や中学校では米飯なので、お米を毎日給食では食べていると思っておりますけれども、改めて中学校、小学校で消費拡大宣伝活動というのはどういうことをなされたのかということが1点。

あわせて、(5)に町内施設のイメージアップ事業として広告等のリニューアルということで、4カ所ですけども、運転してると目に入るときありますけれども、改めて4カ所と言われると、どことどことどことどこだったのか私よくわかりませんので、箇所数は4カ所わかりましたけれども、場所はどこなのかを教えてください。

○矢川又弘 6次産業専門監

秀島議員のほう御質問にお答えしたいと思います。

3項目めの米消費拡大対策事業ということで、小・中学校10校ということで書いてあります。町内には11校ありますので、1校だけがイベントをされなかったということなんですけども、特に集中してくるのが、収穫期以降のイベントを小学校でしていただいて、農家の方に感謝をしていただくとか、それから餅つき等々でされまして、米飯、給食の分とはちょっと別で事業をしていただいております。その分の事業費であります。

2点目の、済みません、数字が間違っております。5番が2つつながっております。申しわけありません。

町内、屋外広告等のリニューアルということで、4カ所と書いておりますけども、済みません、正式には3カ所と1件でございます。はい。場所は有明の干拓入り口のあたりに食堂屋さんがありますけども、あそこのところに1カ所あります。それと、旧有明の戸ヶ里のところにドラッグストアがあります。あそこのところに1カ所です。それと、有明の福泉禅寺に入るところに看板が1カ所あります。そこのところの看板の両面をリニューアルしております。それと、実は撤去を行っております。堤のち

ようど須古のあたりのところに1カ所、やぐらみたいなんがありまして、もう一カ所が横手のところに同じような構造物が水路沿いにありましたものですから、その分の撤去を行ったものです。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、次に第8款土木費、ページ数で116ページ、土木管理費から125ページの消防費の前まで、及び11款の災害復旧費、ページ数で154ページ、質疑ありませんか。

○大串弘昭議員

119ページですか、その一番上のほうです。町道の補修工事費というの上がっております。ここに約2,500万円上がっておりますけども、町道路線延長も相当なものだと思いますが、相当あちこち傷んでいるところがあるわけですが、これについては一括してすれば相当な金額も上がるし、そういった財源もないと思いますが、優先的にどういうところから順序を決めてやっておられるのか、その辺のところの優先順位と申しますか、お尋ねします。

○荒木安雄建設課長

先ほどの道路補修の優先順位でございますけれども、地元の区長さんたちから一応要望等もございます。私たちもその現場を見まして、どこを優先するのか、すぐしなければならぬところ、まだこれは町道も430キロございますので、例えば側溝が下がって水がたまっていると、そういうところもございまして、普通の雨で側溝がつかるとような側溝はすぐ対処しなければならないと思います。

しかしながら、最近ゲリラ豪雨が発生しております。そういうことで、ゲリラ豪雨に対応するというのは、白石町全体に大きな雨が降りますので、そういうところにつかっているところも実際ございます。そういうところで、白石町全体を見回しましてから、ここは早急にしなければならないところ、ここはちょっと次に来年度、予算的にもございますので、来年行うところ、そういうところもうちのほうで取り決めをしましてから対処してるところでございます。

○大串弘昭議員

以前は2,500万円じゃなくてもっと多額な補修費じゃなかったと思いますけども、今地元とか地区長さんからの要望というふうなお話しございましたけども、それに応えるためにはどれぐらいの金額が必要になるのかですよ。この2,500万円で大体おさまっているのか、その辺どうでしょうか。

○荒木安雄建設課長

予算的でございますけれども、過去のこの補修費等を考えながら、年間大体2,500万円ぐらいの予算ということで予算づけをしているところございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○久原房義議員

121ページ、いいですか。河川費の中で、ここに委託料がございます。それぞれ排水機場の管理委託とか、あるいは樋管の操作委託とかもろもろのものがございすけれども、この中でお尋ねでございますが、私の知る範囲の中でも、非常に末端の排水が樋管管理等が悪くて、非常に水高が、常にいっぱいためてあるということで、非常に法面が崩落してる箇所等があるわけです。これ農村整備課とも関連しますけれども、そういうことで適切なそういった面での指導です。今恐らく、もう全てかまち高というのが大原則だというように思っておりますが、なかなかその意識が、まだまだ管理者の中には常に水をためとかんとどうも気分が悪くなるといいますか、かまち高ではどうも安心できないというような方も中にはいらっしゃるようでございます。そういうことで、非常に水位が高いとこほど法がもう崩れておる箇所がございますので、その辺の徹底したやはり指導が必要だと思います。これは建設課、農村整備課、両面からそういった指導をお願いしたいということと。

それともう一つは、悪水排水です。悪水排水の中で、これはそれぞれのいろんな地域ありますけれども、上流と下流のいろんないさかいであるとか、あるいは基本的な排水の体系です。この水はどっちのほうに流すというのが、双方考え方が違ったりして非常に困っておられる箇所がございます。例えば、例えば右のほうに流さなきゃいかんの下流の方が受け入れをされないということで、別の方向にまた悪水を流さんといかんというような箇所もございます。そういうことで、はっきりした、はっきりした排水の体系、この水はどっちのほうに流すというその示しをやっぱり町でもってやっていただかないというと、いつまでたってもこれが解決しないということになりますので、その辺をせつかくこういう多額の委託料を、もちろん管理人さんは非常に御苦労はいただいとることは重々わかります。敬意も表したいと思っておりますけれども、ただ中にはそういった面で相互の連携がうまくできていない箇所等もあるようでございますので、その辺の徹底した指導をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○荒木安雄建設課長

先ほど久原議員言われますように、今現在水路等の水位の高さはかまち高でためていらっしゃいます。

それで、6月に入ってからでしたか、白石町全体、排水対策委員会を開催をしております。それで、白石地域また福富地域、有明地域と3地域に分かれて排水対策委員会をしております。その中で、水位に対しては、今はもう用水路につきましては地区水の水が来ておりますので、なるだけかまち高で管理をしてくださいと、そういうお願いをしているところでございます。

それと、汚水とか排水の上流、下流でのいさかいといいますか、排水の問題でございませうけれども、この問題も昔からの流れ等もございまして、なかなかうまくいってないのが現状かと思っております。

それで、先ほど申しました排水対策委員会等でもう一回再度そういう水の流れについて、ここのゲートを開けたら次ここ開けてくださいと、そういう順序的な、私もこう言ってますけど、なかなかうまくいってないのが実情です。ですから、もう一回そこら辺を、区長さんそれから排水委員さんたちにもう一回、なるだけ白石町全域がそういう水害に遭わないようにしていくためにはゲート操作が大事でございますので、もう一回そこら辺は排水対策等委員会で話し合っていきたいと思っております。

以上です。

○久原房義議員

話し合いも確かに必要な部分もあるでしょうけども、ただ双方がやっぱり思い込みで、これはもう話し合いでなかなか解決せん。ですから、基本的にここの水はどっちの方向に流すんだと。右に流すのか左に流すのか、これ必ずです、なかなか上流、下流で思い込みがあるわけです。

ですから、町のほうでここの水は、例えば右のほうに流しますよという示しをちゃんと示していただかんと、そんな地元の話し合いで云々だけじゃ解決できんわけですよ。だから、あんたたちがここの水はこう流しますよというぴしっとした、それでそこでの思い込みをやっぱり解消してもらおうと。誤解を解消してもらおうということがない限りは、いつまでたっても解決せんわけ。ですから、基本的にははっきりした排水体系というのを図につくって、皆さんがこういう排水の体系はこうだということをやったり同じ共有をしとかんと、いつまでたっても誤解のままじゃ解決せんわけ。そういうことをお願いしとるわけです。

○荒木安雄建設課長

議員おっしゃいますように、水路には必ず高低差がございます。それで、六角川のほうに大体流れていくんではないかと思っております。それで、水路の高さ等をもう一回こちらのほうで測定をいたしまして、図面等を作成しながら、今議員言われるように、この路線の水はこっちに流すと、そういう感じでもう一回委員会等でお示しをしながら町からの指導をしていきたいと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

説明資料の69ページ、道路維持費で事業の実績で業務委託名、ここの業務委託名を見れば路面の性状調査業務委託は169キロで500万円ですから、これは専門的な知識が要るのかなと。ただ、次の社会資本整備総合交付金事業、これの内容を見れば街路灯

の216基、これは工事費まで含んでるのかどうかです。

次の法面土工も、これも1カ所で172万円ですけれども、町の職員さんを見て異常というのがわからないのか。調査の点検業務の委託ですから、こういうのは設計まで含んだのかです。効果を見れば、緊急性の高い路線等の選定が可能となった。問題のある道路には改善ができたとか、そういう評価なのか、ちょっと事業の内容を、そういうとか節約できなかったのかな。ただ、国庫金が720万円も入ってきますので、どうしてもそういう専門的な必要性があるのか。これもこの720万円もほかの名目では使えなかったのか、ほかの事業に向けられなかったのかです。道路維持費ですので、先ほどもどういう順番でやっているんだという質問があっているように、もっとそちらのほうに、こういう約1,300万円ですよ。そういうのが向けられなかったのかなというふうに思いますけども、その辺。

○荒木安雄建設課長

道路ストック総点検事業についての御質問でございます。

これにつきましては、町道の舗装、道路附属物、また道路法面の総点検を行う事業でございます。

最初に、路面性状調査でございますけれども、これが町道の216本で延長が169キロいたしております。優先順位をつけまして、劣化が激しい路線、そういうところを、それで全体的に舗装版の劣化が激しい路線、特にひび割れ等が発生しているところ、それから路床も傷んでいるところがありましたら、CBR試験といたしまして、路盤の強度なども調べて調査をいたします。それで、業務費といたしまして514万円かかっております。

それから、2番目の附属物点検業務委託ですけれども、町道にあります街路灯216基ございまして、この分の街路灯の点検をいたしまして、この街路灯はもう取りかえが必要とか、そういう調査をいたしております。これが613万円です。

それから、3番目の道路法面工・土工構造物の点検業務でございますけれども、これは1カ所で172万円もかかっております。この場所を申しますと、深浦ダムの横にコンクリート吹きつけをしてあります。深浦ダムのずっと上る途中全部コンクリート吹きつけをしてあります。そのコンクリート吹きつけがもうかなりの年数になっておりまして、このコンクリートが剥離しないのか、そういうのを高さ的にも五、六メートル以上あると思います。そういうところで、職員ができるような点検ではございません。ですから、まずそういう足場を組んだり、そういうこともありますし、コンクリートの状態を専門の業者に見ていただいて点検をしておりますので、今回1カ所で172万円もかかったということになります。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○井崎好信議員

決算説明書の67ページでございます。住民協働環境整備資材支給事業で、決算として162万7,000円ということであがってるわけでございます。事業実績として、11カ所と11地区というなことであがっておりますけれども、私は意外と少ないなという感想を持っているわけでございます。これは住民みずからが施工することによって地域がよくなるというなことの事業ですが、今は町道、町内でも見て回りますと、町道の法面が除草剤等で非常に崩壊といういいますか、崩れたところ非常に危険な箇所も見受けられるところがございます。

町内11地区というのは、本当にこれでこれくらいなのかと、予算額に対しまして80%ぐらいの消化になっているわけでございます。こういうのは、駐在員会あたりでその辺の周知をされておるといいますけれども、何かネックになっているものがないのか。

そしてまた、今現在27年度がこの事業、どれくらいの状況であるのかお伺いしたいというふうに思います。

2点目に、次の68ページでございます。

道路等の環境整備事業で、事業実績が上がって各地区出されておって、牛屋西分地区が補助率が50%というようになっているわけでございます。古賀地区の里道の舗装工事は80出で、牛屋西分が50%、この違いは補助率の違いです。

以上、2点をお伺いをしたいと思います。

○荒木安雄建設課長

議員おっしゃられます住民協働環境整備資材支給事業でございますけれども、この事業につきましては、先ほど議員おっしゃいましたように、駐在員会等でこういう事業がありますのでそういう整備が必要があるところは建設課のほうに申請をしてくださいという説明をしてるところでございます。

それで、26年度につきましては、実施地区といたしましては11地区ですけれども、農地水が今はございますけれども、農地水で対応しておられるところもございます。例えば、道路法面、コンクリートをするときには、延長が長いときには一括でできないので、3年ぐらいかかって、毎年3カ年ぐらいに分けて申請されているところもございます。そういうことで、26年度については11地区となっております。

それと、27年度の地区でございますけれども、ちょっと正式な今どれくらい進んでいるというところの正確な数字は後もお答えをいたします。済みません。

それから、次の御質問であります道路等環境整備事業の補助率が牛屋西分区では50%となっております。これはなぜ50%になっているかと申しますと、この行きどまりになってる道路です。行きどまりになっているところは50%ということで、町の中で取り決めをしておりますので、これが普通の町道とか国・県と、ほかの農道とかつながっているところは80%ですけれども、行きどまりにつきましては50%ということになってる、そういうことでございます。

以上です。

○井崎好信議員

住民協働の支給事業は、この事業は、行政が手を加えないで、そして住民が、町民の方がみずから出て、そういった形で協働というな形できれいになる事業でございますので、なるだけこういった事業を、もちろん農地水でもできないことはないと思いますけれども、こういう事業を大いに活用できるように、その駐在員会あるいは広報等で周知をお願いして、この事業はますます事業として進んでいくようお願いしたいというふうに思います。

○荒木安雄建設課長

先ほど井崎議員のほうから質問が上がってございました27年度の申請状況でございますけれども、現在承認済み地区で8地区でございます。それで、26年度までは20万円の交付金額が最高、限度額が20万円でございますので、これまでは申請が少なかったようでございます。しかしながら、27年度からこの上限額を50万円とはね上げましたので、今回申請の相談が以前より多くなっているところでございます。

以上です。

○吉岡英允議員

数点お伺いしたいと思います。

まず、ページ数117ページの……。

○白武 悟議長

決算書ですか。

○吉岡英允議員

済みません、決算書です。決算書のうちの117ページの13節の委託料でお伺いいたします。

その中に地籍情報管理委託料というなことで、3,036万9,600円ですか、決算されておりますけれども、これが管理委託ですけれども、これ毎年この3,000万円というふうな多額な情報管理が委託料が発生するものなのか。

また、我が町においても、こういう情報管理ですので、パソコンを使った管理と思います。それで、ソフト等が多分うちの役場内に入っとらんけんが、外に外注して発注されてある分と思いますけれども、例えばソフト等を導入すればですよ、ソフト代だけで後はもううちの自前で管理するというふうなことができないものか、お伺いしたいです。

それと、ページ数、今度は119ページです。119ページのこれも13節での委託料です。その他委託料で73万4,400円というふうな金額を出されております。そのこのその他の隠れた分の委託料の説明をお願いいたしたい。

それと、123ページお願いいたします。123ページのこれは13節の委託料でございます。りんりん公園につきましては、一般質問もさせてもらってございましたけれども、りんりん公園のことについてお伺いをいたします。

その中に、りんりん公園工事設計業務委託というなことで118万8,000円上げられて

おります。これを昨年度25年度を見てもみますと、25年度においてもりりん公園整備計画構想検討業務委託というなことで、110万2,500円というふうなお金です。25年度で100万円、26年度にも100万円というふうなことで出されております。

それで、質問で聞いた折にも、まだ土木事務所とJRのほうが合意形成がなされとらんけん、駅舎移転のほうもまだ不確定だというふうな御説明を受けましたけども、そうしたところ不確定なことを、りんりん公園はその前のほうの、前とか横の公園整備と思います。

次に、業務委託料を今110万円ですか、払ってありますけども、それが果たして有効なのかです。建物庁舎の、駅舎の、駅舎がちゃんと固まらんうちに周りの設計委託をしとって、動いたらまたそこで若干の委託料なんまた発生するとじゃなかなと私は思ったりするとですけども、その説明をお願いいたします。

それと、125ページです。125ページのこれも13節委託料の中です。この中にもまたその他委託料というなことで、184万円というふうな金額が上げられておりますので、その説明もお願いいたします。

以上です。

○荒木安雄建設課長

吉岡議員さんの御質問にお答えをいたします。

地籍情報管理委託料3,030万円程度ですけれども、この事業内容といたしましては、今回白石町全体の今写真をGISのほうに載せております。この写真自体は、平成18年に航空写真で撮った写真を今データ化して載せております。

それで、平成18年に飛んでおりますので、それからもう8から9年たちますので、この間かなりな修正といいますか、形状が変わっているところは多分あるわけです。そういうことで、今回新たに航空機で飛んで写真を撮って、データ化をいたしました。そういうとこで、この金額が3,000万円に、それが大体その金額がデジタル化したのが2,800万円程度で、あと普通管理しますGISの支援保守業務委託がございますので、等いろいろな情報の管理の面でそれが220万円程度で、今回だけこの3,000万円程度にはね上がっている分でございます。ですから、毎年は大体220万円ぐらいの管理委託料になっているかと思えます。

それから、119ページのその他委託料でございますけれども、委託料としましては道の駅登録用地地形図作成業務委託料でございます。

それと、りんりん公園の工事設計委託料でございますけれども、公園、トイレ、駐輪場、駅前広場の設計業務委託料でございます。

住宅に関するその他委託料でございますけれども、上廿治、廻里津住宅の浄化槽の清掃、点検委託料、それから廻里津住宅の汚水処理、機器点検の委託料でございます。以上です。

○吉岡英允議員

そしたら、一番初めに聞いた地籍情報管理委託料について再度お伺いします。

これは、前のGISからのあれからなんかな、9年ばかりの月日がたつとけんが、

今度更新して1回限りだというふうなことで、今後220万円がかかるというなことでやったですけども、そしたらあと何年間これを今今度変えられたシステムを使うつもりなのかですよ。具体的にあと何年ぐらいはこのデータを使われですよ。

それともう一つは、今グーグルマップですか、ああいうふうなこともものすごい有効だと思いますので、何かその辺も基本大まかなやつはもうぴしゃっとした航空写真の正確図を使っておられてですよ。あと、比較すれば意外とグーグルマップも新しかけてですよ。その辺のことも、縮尺度合わせれば有効かだと思いますので、その辺も使っていただきたい。まず、何年間これをシステムを、今回システム導入を使われる予定なのか、伺いたいということを1点と。

あと、りんりん公園について、私が聞きたいのは26年にこの設計業務委託をされて、それが完全に有効なのか、設計業務についてまた新たに発生せんかです。その点だけ聞きたかです。

2点お願いします。

○荒木安雄建設課長

議員おっしゃいますこの業務が今後何年後に発生するかという御質問でございます。

今のところ何年とは私はつきりは言えませんが、18年にして、もう七、八年で、どこでも実際家が建ったり道路が新しくなったり、そういうことで形状がほとんど変わってきます。そういうことで、今後も七、八年ぐらいでこの業務が発生するんじゃないかなとちょっと私思ったりします。

それから、グーグルマップを使えないかということでございますけれども、今地図をアップロードするのは地籍調査で各、例えば宅地の境界でございます。そういうのは座標管理をしておりますので、そういう座標管理をしております地図とその航空写真で撮った写真をマッチングさせまして、そこの一つの地図情報を作成するようになっておりますので。議員言われますように、グーグルマップも今本当に鮮明に画像が出てきます。そういうことで、利用はどうかと言われますけれども、ちょっとそこら辺今後検討させていただきたいと思っております。

それと、先ほどの公園委託ですけれども、25年度が駅前広場を含む基本構想の設計の全体を公園委託費として委託いたしておりました。それと、平成26年度が公園の詳細設計ということで委託を出しておりました。

また、今後変更がないかという御質問でございますけれども、打ち合わせをしていく中で変更は必ず出てくるんじゃないかと思っております。

以上です。

○片渕克也企画財政課長

私のほうから、地理情報システムの件について若干補足をさせていただきたいと思っております。

26年度の決算の内容につきましては、建設課長が申し上げたとおり、いわゆる写真情報をあわせたデータの更新をするということで、3,000万円程度かかるとしております。基本的には平成、合併の特例ということで構築した地理情報システムでございます。

中のデータはそういうふうにして数年置きに更新していく必要があると思います。

ただ、基本的なシステムそのものは多額な経費をかけてつくっておりますので、しかもいわゆる白石町の土地の基礎となるものですので、そんなに軽々に変えるべきではないと思っております。ただ、機器とか、いわゆる端末の機械だとかは陳腐化して行く可能性はありますので、それはその時点で更新は必要になってくるのかなと思います。

それと、じゃあ次の更新はということありますので、これ固定資産の評価等々にもまだ活用しておりますので、いつまでも古い写真で評価というのもこれもなかなか説明がつかないところがあります。

それと、グーグルというのもありますけど、グーグル、非常に道路に沿って見えませすけども、あれもデータの的には古いデータでございます。そして、しかも写真に写る外の内側のほうは見えなような状況でございますので、行政で使うのはどうなのかなというふうに思っております。

以上でございます。

○吉岡英允議員

最後に、もうでも終わりでしょう。りんりん公園について再度発生するこっちゃわからんというふうな回答やっただすけども、答弁でございましたすけども、もう基本設計ができたときですよ。あと技術者も、我が町は大抵おるので少し動いたぐらひは、設計書ができとったらあとはもううちの職員さんのほうで、委託をかけなくてしていただきたいものと申し伝えときます。

○荒木安雄建設課長

職員でできるところはあれば、そこら辺は考えていきたいと思っております。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

117ページ、委託料のところですけど、道の駅基本構想策定業務委託料、ここの内容を教えていただいてよろしいでしょうか。

○片渕克也企画財政課長

担当がずっと昨年と変わっておりますので、私のほうから説明させていただきます。

御承知のとおり、当初道の駅は直売所を中心として3点当たりで、そしてどこが一番最適な場所なのかというふうなところからスタートをしたわけでございます。なかなか我々の目で見ると、第三者の評価というのが大事なのではないかということで、基本構想という形で外部に委託をしまして、しております。

その中で、これは庁議の中でも、例えば3カ所に限定するのはまずいんじゃないかと、もう少し広い目で見たらいいんじゃないかとかという意見も出まして、そういう

ところまで含めて3月の議会のときにいろいろお願いをいたしましたけれども、そういったところで基本構想という形で現在の予定している場所が最適ではないかと。有沿道路、その交通量、そういうところまで全て評価、概要については議員さん方にもお示ししたとおりでございますので、そういった内容の調査をしたものでございます。

○前田弘次郎議員

この基本構想という言葉だけとったら、何か道の駅をつくるときの最初の基本構想を委託したような感じでとれましたけど、今ちょっと課長の説明で、要するにその場所を決めるときの構想ということで考えていいですか。

○片渕克也企画財政課長

そうですね、いろいろ評点をつけてどうという、お出ししましたけども、その計画ということでございます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○矢川又弘6次産業専門監

先ほど吉岡議員のところの説明をさしあげたところで、済みません、説明が間違っておりますので、訂正をさせていただきます。

説明資料の56ページであります。

支出のところ、その他133万9,000円のところ、私東京都庁での物産のフェアということで説明を申し上げましたけども、物産のフェアは、済みません、(5)のブランドイメージアップの128万5,000円であります。その他のところが、町内の広告等のリニューアルの件で133万9,000円となっております。

以上、訂正をさせていただきます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、これで決算認定に伴います産業建設部門の質疑を終了します。

日程第3

○白武 悟議長

日程第3、議案第45号「平成26年度白石町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより採決をいたします。本案は「平成26年度白石町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定」です。本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第45号は認定することに決定しました。

日程第4

○白武 悟議長

日程第4、議案第46号「平成26年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

質疑ありませんか。

○秀島和善議員

1点だけ担当課にお尋ねします。

26年度末での接続率はどのようになっているのでしょうか。

○白武 悟議長

ページ数は。

○秀島和善議員

接続率ですので。

○白武 悟議長

いや、済みません。

○堤 正久下水道課長

公共下水道の接続率ということでございます。

26年度末で33.38%となっております。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより採決をいたします。本案は「平成26年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定」です。本案を認定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第46号は認定することに決定しました。

日程第5

○白武 悟議長

日程第5、議案第47号「平成26年度白石町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について」を議題とします。

質疑ありませんか。

○秀島和善議員

水道課長に1点だけお尋ねをいたします。

ページ数で白石町水道事業会計決算審査意見書のところで、滞納についての実態をお尋ねします。

ページ数で8ページになります。8ページに④として未収金ということで、滞納額の状況として20年度以前分から26年度分ということで一覧表が掲載されてます。ここを見ますと、26年度分として26年度末現在775万1,634円ということで、25年度分と比較しても倍以上にはね上がっていますけれども、この滞納の実態はどのように分析されているのでしょうか。

○山口弘法水道課長

26年度分が水道会計といたしましては、3月31日現在で閉鎖になります。それで、4月移行に入ってくる分も若干ございますので、その分で締め新时期の違いといえますか、で上がっているものだと思います。その後、4月移行に入ってくるようなことがございます。

以上です。

○秀島和善議員

この775万1,634円の内訳を教えてください。何軒で何件の滞納の状況なんですか。わかりますか。

○山口弘法水道課長

26年度分につきましてですけれども、月数で申しますと1,688月分というふうなことになります。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
これで質疑を終わります。
討論ありませんか。

○秀島和善議員

26年度水道事業会計予算に反対の立場で討論をさせていただきます。

多くの町民からすれば、払いたくても払えない高い水道料金という意見は今でも圧倒的に多くあります。では、どうしたら引き下げられるかといいますと、高い水道料金を引き下げる方法は、以下5点について本気で全力を挙げれば実現できます。

第1に、責任水量の見直しを本気になってすべきであります。責任水量の60%しか使っていない、あとの40%は使われない水に対して町民の血税を支払っているのが実態です。

第2に、佐賀西部水道企業団と自治体担当課の経営努力がまだ不足していると思います。

第3に、有収率を一日も早く90%、100%へと引き上げていく努力が大切です。

第4に、一般会計からの繰り入れを増額するべきです。

最後に、第5として、現在この水道課の各市町村の統一、統合、一本にしていくということが論議されていますけれども、その方向の具体化を急ぐべきであります。

以上、5点にわたっての努力を田島町長を先頭に具体的な行動を起こして、高い水道料金の引き下げを実現して、生活防衛の町運営に全力を挙げていただきたいことを要望し、反対討論とさせていただきます。

○白武 悟議長

ほかに。

○大串弘昭議員

私は「平成26年度白石町水道事業会計決算の認定について」は賛成の立場で討論をさせていただきます。

水道事業運営につきましては、今日の少子・高齢化、あるいはまたそれに伴いまして人口減少が進む中、水事業は毎年減少化の現状にあります。一方、各種建設工事費、またあるいは受水費、施設の維持管理費や企業債の元利償還など厳しい状況下にもあります。このような中であっても、財政状態では監査委員さんの報告にも上がっておりますように、正味運転資本は11億8,200万円と、良好に維持をされております。また、維持管理面においては、有収率で昨年度から見て、1.8%向上し、84.7%になっております。今後とも改善に向けて努力をお願いするものであります。

企業債についても、経営努力により借入額の抑制に努められ、本年度は前年度から見て3,600万円をも減少し、確実に年々減少をし続けております。今後とも企業債の一層の減少と、また水道事業会計全般にわたる事務事業の儉約と、そしてコスト低減化を図るなど、公営企業として健全な運営に努められ、町民が安心して飲める飲料水

の供給になお一層努力していただきたいことをお願いして、賛成討論といたします。
皆さんの御賛同をよろしくお願いいたします。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで討論を終わります。

これより採決をいたします。本案は「平成26年度白石町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定」です。本案を認定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立多数です。よって、議案第47号は認定することに決定しました。

暫時休憩いたします。

11時59分 休憩

13時15分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

○荒木安雄建設課長

午前中の吉岡議員の質問に対しまして間違った答弁をしておりましたので、御訂正をいたします。

決算書の119ページをお開きください。

道路新設改良費のその他委託料の中で、答弁では「道の駅の基本設計の委託料」と申し上げておりましたけれども、「町道中郷揚田線の道路改良工事に伴います家屋等の事前調査の委託料」でございました。申しわけございませんでした。御訂正をお願いいたします。

以上です。

○大串靖弘農村整備課長

午前中の大串弘昭議員の御質問にまだお答えをしておりませんでしたので、お答えをさせていただきます。

白石土地改良区の経常賦課金の納入についてということで、町内全域についてお答えさせていただきますけれども、事務費が1,300円、用水管理費が800円、維持管理費が400円、合計2,500円に対してあと地区水事業の2,100円がプラスになるのかという御質問でございましたけれども、それについてお答えさせていただきます。

その2,100円という根拠でございますけれども、15年の計画変更時点では工事費が1,600円、それから維持管理費が800円というふうになっておりました。19年だったと思いますけど、その説明の折に品目横断的経営安定対策事業というのが対象となりまして、6分の5が無利子で対象ということになります。あと6分の1が利子です。利子つきということで、この対象になるのが下流の一般と、白石平野の1、2期の分が対象になるということで、特別会計の分以外は対象になるということでございます。

それで、その事業に取り組みますと、1,600円の工事費から300円引きまして1,300円と、維持管理費が800円となって、2,100円というふうになっております。

またさらに、今回事業費が大体確定したということで、それが反当900円、それと維持管理費が900円です。それと、800円ということで、1,700円ということになります。その1,700円に対し、今この通知書の中に、真ん中の用水管理費というのがその維持管理費に当たる800円でございます、その分はもうこれに入っているということで、あと2,500円に対しまして500円から1,300円まで7段階あるわけでございますけれども、その分の平均900円が別に工事費として賦課されるということでございます。

以上です。

日程第6

○白武 悟議長

日程第6、議案第51号「白石町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について」議題とします。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第51号「白石町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について」採決をします。本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第51号は原案のとおり可決されました。

日程第7

○白武 悟議長

日程第7、議案第53号「平成27年度白石町一般会計補正予算(第3号)」の産業建設分を議題とします。

これより質疑を行います。

なお、質疑の際は、補正予算書の何ページ、補正予算説明資料の何ページとはっきりお示しください。

まず初めに、1ページから歳入16ページまでの産業建設部門について質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、次に歳出に入ります。

30ページから48ページまでの産業建設部門について、なお43ページのパークゴルフ場整備費を含めます。質疑ありませんか。

○溝口 誠議員

予算書の32ページ、説明資料の3ページです。

農業振興費、農業、この野菜残渣適正処理対策費について伺います。

午前中も26年度の決算でお話がありましたけれども、質問がありましたけれども、まずこの事業変更内容ということで、白石町野菜残渣適正処理対策協議会の開催ということで、これが協議会が途中で中断しておりまして、この野菜残渣適正に関しましては調査が25年10月の補正で上がりまして、362万2,500円をかけまして調査をし、そして適正協議会で方向性を出すということでありましたけれども、方向性が出なくて、そのままということでありました。

この野菜残渣適正に関しましては、将来的にもこれは避けて通れない現状でございます。この協議会を再開するというものではございますので、どういう方向性でいくのか、また運用をしていくのか、そしてまた将来的にどこまでなしていくのか、これは先ほども言うように、絶対避けて通れない問題でございます。町長にこの答弁をお願いをしたいと、それが1点と。

あとのこの事業の協議会が処理対策協議会と、2つ目が処理適正対策企画検討会議が、もう一つが——仮称であります——野菜病虫害防除残渣処理推進協議会設置、3つでありますけれども、この3つがどういうふうに、別々にあると思いますけれども、連動しながらこれいくと思っておりますが、ばらばらでそのままで終わるんじゃないかと、この連動しながらきてますということで、どういう手順で、まずは協議は協議会として、それからまた庁舎内の開催であるもの、適正対策企画検討会議、これを2つ得まして次に行くのか。それをもとにしながら次の段階、この3番目の病虫害と残渣との協議会に持っていくのか、そこら辺の手順をお伺いしたいと思います。

そしてもう一点は、3点目はこの負担金補助及び交付金の中に定点調査協力農家謝礼金4,000円当たります、3カ所。この3カ所とされた理由です。実は、農協と普及所、去年かからことしにかけて、ことしにかけて優良農家にアンケートをとりました。いろんな現状調査をされましたけれども、それを踏まえてこの定点調査となりますけれども、この3カ所を指された意義、この3点を伺いたいと思っております。

○田島健一町長

溝口議員の質問に対して、まずもって私のほうから説明をさせていただきたいというふうに思います。

議員ほか皆さんの思いも一緒だというふうに思いますけれども、白石農業の柱であるタマネギ、これが危機の状態に入りつつあるということでございます。そういったことから、これを何とか食いとめるといふか、消していかにやいかんという思いでございます。そういったことから、昨年はずっとやっておりましてけれども、昨年の中間といいますか、途中の段階ではやはり金がかかるといったら語弊ありますけれども、以前やっておった焼却のほうが現時点においては有利じゃないかなというような話でございまして、ほかのいろんな、例えば処理の話、処理場を活用するとかなんとかの話も踏まえていかにやいかんということで、ちょっと中断というような格好になっているというふうでございます。

今回またさらに、とにかく放置することはできないということで、今回またさらに計上させていただいてるところでございますけれども、協議会とか企画検討会議とか、さらなる推進会議、これも位置づけ等々については後もって担当課長のほうから説明をいたしますけれども、大枠といたしましてはとにかく役場、庁内だけじゃなく農協さんとか、県とかなんとかの普及所さん、さらにまた生産者の方を巻き込んだ形で大議論をしてみたいというふうに思います。そして、一日も早くこれの解決に向けた方策を明確にしていきたいというふうに思っているとこでございます。

多分最終的には、結論ありきじゃないですけども、焼却の方向になるのか堆肥化の方向になるのか、それとも先ほど久原房義議員からも話しありましたように、これはもうあとは農家の人たちの意識の問題になるかもわからんということの話もありましたけども、とにかく大議論を行って決着をつけていきたいというふうに思っているとこでございます。

以上でございます。

○鶴崎俊昭産業課長

議員の御質問の野菜残渣適正処理対策協議会の今後の方向性ということでお答えをいたします。

この議会でもたびたび申し上げておりますように、この協議会が途中で中断しているという形に現在なっております。この調査を受けましての協議会ということとして、調査自体が午前中も申し上げましたが、堆肥化また焼却というその調査の結果が出て、事業化ができないかということで、民間企業等への調査でございました。

可能性としてはその2つが出てきたわけでございますけども、実際企業として受けられるのか、採算がとれるのかという点になりますと、やはり現在の企業としてはちょっと受け入れがたいと、可能性としてはあるだろうけどもというようなことでその調査が結論づけられ、午前中に久原房義議員がおっしゃったように、事業化ができなかったというようなことであります。

これを受けまして、この対策協議会が発足したわけでございますけども、1年間検討してまいって、では民間の企業とかそういう施設に頼られないなら自前で施設をつくるのかというような話にもなりました。

この協議会として、単に意見の集約として、じゃあ施設をつくって対処してくださいとか、各農家をお願いして対処してくださいという、そういう意見書だけではいけないだろうというようなことで、最終的にその意見書を公にしてないのは、前にも申し上げました施設をつくっても農家が処理場に持っていくのか、手数料は払うのかというような問題が出てきました。それで、単に施設をつくってください、こういう施設をつくってくださいという意見書だけではだめではないかというようなことで、ちょっと中途半端に現在中断をしているような状況です。

今後の方向性といたしましては、まずこの協議会としてどういう対処をするのか。施設をつくってくださいと言うだけなら簡単なことですけども、それに対する予算、各農家の反応等々がございます。この協議会としましては、再開してみても皆さんの御意見はもちろん必要ですけども、産業課としましては施設を単につくってくださいと

かそういうことでなく、もう少し具体的に研究ができればなと思っております。

3つのこの説明資料の3ページ、事業の変更内容として3つの会を上げとります。順番でいいますと、まず真ん中の野菜残渣処理適正対策企画検討会議、これは庁舎内、職員の会議でございます。産業課だけのことではなく、生活環境それから財政面、下水道関係の担当等集まりまして、全体的な協議をしてみたいと思っております。

次に、続きますのがその上、野菜残渣処理対策協議会、今中断している分でございます。ここにつないで、これは今年度いっぱいということで、一応その方向性、集約をしまして、次に3番目の今回補正をお願いしております協議会のほうへつながっていくわけです。

野菜病虫害防除残渣処理推進協議会としておりますけども、まだ正式名称ということではなく、こういう内容の協議会でいくというようなことを考えております。これも3年間の期限を区切っております。

ですから、今一番上の協議会からこれに引き継ぐ、もしくは内容を、それを受けてまた具体的に検討するというようなことになってまいるかと思えます。構成メンバーといたしましても、その協議会と似通ったメンバーで構成をしております。そういう関係性でこの3つを開催してみたいと思っております。

それから、定点調査の3カ所の理由でございますが、私がおその会議に出ておらなくて、詳細はというか、具体的にどこのポイントというのはちょっとわかりませんが、地域西のほう中央、それから東のほうというような3カ所を調査地点にしたらどうだろうかという提案は、この会議が開催されてからなされるかと思っておりますけども、まだ具体的にどこというのは決まっております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

予算書の32ページ、19節地域資源循環型土づくり推進協議会負担金、これはメンバーはどういうメンバーですか。今までこれはなかったらと思っておりますけども、新しく設置されるんじゃないかなと思っておりますが、その中で下の段の病虫害防除と残渣処理も含んでされるんですか。同じメンバーですか、違うメンバーですか。

○鶴崎俊昭産業課長

補正予算書32ページ、地域資源循環型土づくり推進協議会の内容でございますが、これにつきましても、出だしといいますか、きっかけはやはりタマネギのべと病対策、それからこれはもう園芸全体に言えることですが、地力の低下ということに対する協議会ということで、今回新しく開催をしようと考えております。

それにつきましては、メンバーも先ほど申しました野菜病虫害防除残渣処理と若干変わります。そのメンバーといたしまして、町、これは産業課入りまして、JAさかの白石地区、それから各園芸関係の部会です、タマネギ部会、キャベツ部会、レタス

部会、アスパラガス部会、レンコン部会、ブロッコリー研究会、畜産関係部会、杵藤農林事務所、農業試験研究センターの白石分場、それから杵島農業改良普及センター、以上のメンバーで堆肥の供給体制仲介に対するシステムの検討をしよう。それから、いろいろ散布の方法とかも研究して、地力の回復に努めたいというなことで、これも29年度まで、今年度から3カ年の予定で研究をしようという協議会でございます。

以上です。

○岩永英毅議員

6月議会だったと思いますが、溝口議員がべと病は糸状菌であるというふうに言われましたけれども、糸状菌対策をこの土づくりで行わんと根本的な連作障害というのが、対策できないんじゃないかというふうに思います。

糸状菌は何が弱いかというと、放線菌に弱いわけです。だから、放線菌の対策を何かでしてやれば多分解消できるんじゃないかなというふうに思いますけれども、農協の技術員さん、それから普及所の技術員さんがいらっしゃるならば、続けての材料の中に放線菌を添加してみてもどうかというのを提案されてはいかがですか。

○鶴崎俊昭産業課長

今の御意見、開催しましたら早速その場で伝えたいと思います。

以上です。

○吉岡英允議員

説明資料の、先ほど溝口議員が言われた同じページでございます。説明資料の3ページをお願いいたします。そこの3番の補正予算額というふうなことの表の中でちょっとお聞きをしたいと思います。

11節需用費というふうなことで、ふと不法投棄防止啓発チラシというなことで書いてありますけれども、普通不法投棄というたらやっぱり粗大ごみとかなんとかのことをイメージしますけれども、この分については野菜残渣やけんが不法投棄、道べたに野積みとか、川辺で野積みをしてはいけませんよというふうなチラシを作成されると思います。そうしたところ、多分チラシの中には適所に自分の敷地のとこに囲いをしておきなさいというふうなチラシもつくられるかですよ。どういうふうなチラシをつくって、これ全戸配布ですよ、農家でもないところにも配ると、町民全部の世帯に配るというふうなことです、どういうふうなチラシをつくるというふうなお考えなのか。

それと、その下のほうに、中ほどチラシ印刷とございます。このチラシ印刷に書いて、また違うチラシを多分つくられるのかなと思います。それで、これもどういうふうなチラシをつくって、全世帯にもう配るというなことです、どういうふうなことをお考えなのかお願いいたします。

そして、その下の防除対策パンフ印刷、これは2,000部やられてるんです。これ農家全戸数の分かどうかわからんですけども、その辺のちょっと説明をお願いしたいと思います。

○鶴崎俊昭産業課長

まず、この需用費で上げております啓発チラシの中身ですが、議員おっしゃいましたように、野菜、特にタマネギ関係の不法投棄の防止ということの内容でございます。

ここでも先ほどの問題がまた繰り返してくるわけですが、じゃあどうすればいいのかというようなことになってこようかと思えます。ですから、単に捨てないでください、じゃあ捨てないタマネギはどうすればいいのかというのは必ず出てまいります。そういう難しい問題も含んでおりますので、この協議会等発足し、どういうチラシ、内容のほうがいいのか、検討をしてまいりたいと思えます。

その下のほうのチラシ印刷、これも同様でございます。これはその協議会として、不法投棄に限らず、べと病もしくはその他病害虫に対するチラシをどのような内容でつくるのか、今後の検討事項だと思っております。

それから、防除対策のパンフレット印刷、これも申しわけありませんけども、具体的にはまだ検討をいたしておりません。一応農家あたりに、関係者に配りまして、パンフで啓発をするというような内容ではございます。

以上です。

○吉岡英允議員

そうしたところ、協議会で検討した後、チラシを配布というか、どういうふうにつくるといふことになれば、これ同一の今度の9月補正で出されておりますので、3月までの予算かなと思えますけども、そうしたところ協議会で案を練り上げて、チラシを配るといふことは、これもそう、なおさら2回配るとしてやけんですよ、これ3月中に配ることでできとですか。次年度送りになるとじゃなかですか。

○鶴崎俊昭産業課長

お願いしておりますのは平成27年度予算でありますので、年度内執行ということで御理解をいただきたいと思えます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○久原房義議員

説明資料では5ページ、予算書では33ページになりますが、畜産業費で488万1,000円の今回補正が上がってきます。説明書で見ましても、自給飼料の関係の機械の導入でありますとか、あるいは牛舎の新築、それに関連する器具、備品ということでもございまして、非常に結構なことだといふふうに思っております。

さが肥育素牛・自給飼料生産拡大施設整備事業ということになりますけども、今は非常に全国的に結局あとう肥育素牛というのは、いわゆる子牛です。肉牛になるもといわゆる和牛の子牛になりますけども、その生産が非常に停滞をしております、全国的に子牛資源が不足しとるといふことで、今子牛の価格も非常に高騰を続けてお

りますけども、そこで国を挙げて子牛生産に力を入れていかなくちやいかんということまでして、今回のこの施設の整備費が上がっておりますので、非常に結構なことだというふうに思っております。

もともと考えてみますと、白石平野は非常に恵まれておるわけですから、穀倉地帯でありますので、稲わら、麦わら、あるいは最近ではWC S用稲とか、粗飼料資源に非常に恵まれております。

それと、さっき岩永議員も言われておりましたけども、野菜の病害対策での土づくりです。この土づくりのものはやはり堆肥です。私淡路島に視察に行ったことがございますけども、あそこもタマネギの産地でございますが、周辺には酪農、和牛繁殖がいっぱいあります。そういったことで、非常に積極的に土づくりが進められておると、これは持ちつ持たれつということで、やはりどこ行っても、熊本行っても鹿児島行っても、園芸地帯には必ずその周囲には畜産が栄えておると。そこら辺の連携です。畜産から出る堆肥をうまく園芸農家の方が利用をしていくということで、そういった双方です、双方栄えていくと。

しかしながら、そこを考えると、我が白石町を見た場合、非常にアンバランスなんです。園芸は非常に振興されておりますけども、畜産業が非常に少ないということです。そういうことで、私もこの仕事しておりましたので、やはりいろんな学者先生いらっしゃいますけども、有畜農業という、地域での園芸と畜産あるいは米麦、そういった均衡のとれた地域の農業をつくっていくと。そこで、いろんな畜産の振興もしながら、また園芸の振興も同時に図っていくと。そうすることが将来的に安定した力強い地域の力になっていくと、そういうのが有畜農業の定義でありますけども、そういうことからまだまだこの畜産の振興は必要だというふうに思っております。

それと、さっきの野菜残渣ともちよっと関連しますけども、私も牛を飼っておりますが、レンコンのくずあるいはタマネギのくず、全て私自家用に使っております。牛の餌としてです。レンコンのくずも、1日に20キロのコンテナで6杯ずつ毎日やっております。これは、レンコンつくっておりませんから、生産者の方が持ってきてくれるわけです。捨てるとなかなかけんがちょうどよかったということで、家まで持ってきていただきます。それで、非常に捨つともなかなかけん、本当に私も助かるよということによっていただきますし、私も餌に利用できますから私も助かると、そういう関係が実はございます。

そういうことで、畜産振興も大事ということとあわせて、地域農業を、本当に足腰の強い農業を育てていくという意味ではこの畜産振興ももともと大事だということと、そういった土づくり、あるいは野菜残渣の利用、処理です。これらも含めて安定的に循環型の農業を、そういったものをやっぱり白石の農業としては目指していくべきだというふうに常々思っておりますけども、その辺での所見をお伺いしたいと思います。

○田島健一町長

ただいま久原議員が最後に言われた循環型農業と、私も同感でございます。そういったことから、先日大木町のほうにし尿を液肥化してるところも見学に行ってきたところでございますけども、議員先ほどから言われるように、畜産と園芸ということがご

ございますけども、畜産のところに我々が、人間が生活して排出するし尿というのを、あるんじゃないかなというふうに思います。そういったものを、前回の検討の中でもそういったこともできないかということも検討の中に入れとったところでございますけども、なかなか相手さんがいることですので、なかなかそれがうまく先まで進んでおりませんでしたけども、今回の検討の中ではそこら辺も含めてやっていきたいなというふうに思っております。

やはり今の世の中、こういった産物だけじゃなくて、いろんな物についても、循環型社会ということでいろいろやっておりますので、白石町においてもそういう本当に取り組んでいる町だと。そして、農作物についても、有機でつくったおいしい食べ物がありますよというのを売りにしていきたいなというふうに思っておるところでございます。

以上です。

○井崎好信議員

私も、説明資料の3ページ、先ほどの溝口議員の関連でございます。

野菜病害虫防除、これはタマネギの対策というなことで立ち上げられるかと思えますけれども、先ほど定点が3カ所ということで、西に1カ所、東に2カ所というな課長の説明ございましたが、私はもう少しふやして、例えば支所に1カ所、9カ所ぐらいの定点でもいいんじゃないかなと思います。生産者も、そういう定点の調査というのは非常に関心があるといいますか、動向に関心を持たれるかと思えます。支所単位に1カ所ぐらだと、そういう現地を確認、情報をすぐもう提供をされて、生産者にも調査をされて、情報を出されるかと思えますが、やはり支所単位にしとくとすぐ現地が確認をしやすいというふうな点がございますので、そのぐらいの9カ所ぐらいの定点でもいいんじゃないかなということでございます。

もう一つは、先ほど来話でございますように、それはやっぱりタマネギの病気、べと病というのはいろんな要素、要因があつてのことだろうかと思います。けど、ありますように、もちろん土づくりも大事ですし、管理面あるいは施肥、いろんなことが要因して拡大をしてきているものだと思いますが、昨年でもですけども、そういった中で普通の通常どおりの生産を上げていらっしゃる方、病害の中でも軽微な、そういうべと病の軽微で終わって、そしてまた玉太りもよくて、そういった生産者も支所に1人、何人かおられます。やっぱりそういったもちろんこの定点調査も大事でございますけれども、そういった方々の事例報告といいますか、それを発表していただくというな場は到底できないと思えますが、そういったこの協議会の中で農協なり、あるいは普及所なりが聞き取りをして、そしてそういったことを生産者に情報として伝えると。それは反省点としてことしの作柄、作が終わったら、来年でもいいわけでございますけれども、そういった事例、優良農家の事例も含めてこの協議会の中で取り上げて、それで生産者に情報として伝えるというなことも大事かなというふうに思います。

○鶴崎俊昭産業課長

今議員の御質問にありました定点3カ所ということでございます。

私は、先ほど西側中央、東側というような言い方をしたわけでございますが、もちろんそれが決定しているわけではございません。御提案の支所単位に、9カ所等々もこの協議会発足してから御提案はいたしたいと思います。3カ所と決定事項ということではございません。

それから、べと病対策、まさに今おっしゃっていただきましたこと、この協議会に重要なテーマだろうと思います。現にことし悪かったと言いながら、通常の数、大きいタマネギをとられた方もいらっしゃるわけですが、町内の全農家がだめだったというわけではございません。そういう優良事例、まさに参考になるような栽培の仕方、もしくは地力等々があったかと思えます。その点も十分研究をいたしまして、ほかの農家の方への周知も行ってまいりたいと思っております。

以上です。

○岩永英毅議員

関連ですけれども、先ほどの協議会のメンバーをお伺いしたんですが、私聞き漏らしたかどうかわかりませんが、白石の分場、野菜試験場のメンバーも入られてましたか。あそこは栽培のほうと土壌肥料と、それから病害虫防除と、3名多分技術屋さんがいらっしゃると思います。そういう方々もメンバーの中に入れてぜひ、物理的と科学的と両方あわせて検討していただいたほうがいいんじゃないかと、今後の対策に大いに役立つんじゃないかなと、実践をもってされてますから、ひとつ先ほどの井崎議員の優良農家です。そういう事例もあわせて検討していただければというふうに思います。

特に土づくり面では、今畜産農家は堆肥も振って幾らというのもしてもらっているようですので、普通、農家は堆肥するのが大変なんです。あれ何というかな。

（「マニアスプレッダーじゃ」と呼ぶ者あり）マニアスプレッダーは、普通の米作農家は持ってないと思いますので、そういうのを振って幾らというのをしてもらおうと大変助かるんじゃないかなと。説明書の5ページにもマニアスプレッダーというふうに補助金のあれがありますけれども、そういうのもひとつ拡大していってもらえればもっと循環型が広がるんじゃないかなと。病害虫対策になるんじゃないかなというふうに思います。

○鶴崎俊昭産業課長

まず、1点目の地域資源循環型土づくり推進協議会に、農業試験研究センター白石分場、ここも参加していただく予定であります。

それから2点目、堆肥の散布が大変だということで、マニアスプレッダーを使ってそういう事業というか、その作業を委託等々できないかということが出ております。この協議会の中でも散布の方法等の検討、そういう作業等の仕方等も検討内容に入れておりますので、その辺今おっしゃっていただきましたことも含めて協議会で検討したいと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○草場祥則議員

説明資料の7ページ、パークゴルフ場の件で、予算が5,230万円というような金額出とりますけど、これは確認ですけど、説明会でもこれが実際工事が始まったりしたときに、精査したときには幾らかもう少し下がりゃせんやろかというような話はあつておりましたけど、そこは確認ですけど、どうでしょうか。

○荒木安雄建設課長

さきの説明会では、この工事費が若干下がるんじゃないかということをお願いしておりました。それで、下がる要因といたしましては、前に申しあげましたように、敷地の造成、盛り土で、ここに上げてる予算は新規土で上げておりますけれども、一応2,500立米丸々塩田での公共工事が出る残土がございまして、その分をこちらのほうに持ってきたほうが向こうとしても安いと、金がかからないと、そういうこともございまして、この分丸々新規土購入分が減額になりますと、700万円から800万円ぐらい下がるんじゃないかとは申しておりました。

それとあと、施設整備ですけれども、前も申しあげましたように、1社見積もりでしておりましたので、これを3社見積もりとかとればもう少し安くなるんじゃないかと思っております。

それと、備品購入費も定価で上げておりますので、ここら辺でも予算的にも若干下がってくるんじゃないかと思っております。

以上です。

○草場祥則議員

コスト意識を持って取り組んでいただきたいと、そういうに思います。

ただ、きのう私とちょっと三夜待があつて話しましたが、やっぱしそがなかけですつとやというようなことで、なかなか町民の方を説得しようでは、いろいろ大変だろうと思います。ただ、でもそのうちですね、交流人口をふやすなり、また沿岸道路のインターがあそこにできたら、先の、町の将来を考えたらですねというなことで説明をいたしましたけどです。

ただ、私が説明会の席上ちょっと気になったのが、財政課長さんがこの5,000万円、これはもう回収は考えてないと、最初からそう言われたことに対しては、民間の私たちのやり方からしたらやっぱしちょっと甘うなかかなと思うわけです。やっぱしそれも回収するんじゃないかというような意気込みで事業を始めてもらわないと、私たちも一番苦勞するのは設備投資をいかにして回収するかというふうに、苦勞するわけですから。ただ、そういうふうな意識を皆さん方が持ってやってもらわんと、つくったもう税金だから良かくさんというような考え方じゃなくて、今後はやっぱしそういうふうな意識を十分持ってやってもらえれば、事業自体も緊張感が出てよりよくなるんじゃないかなと思っておりますけど、町長どういふふうなんでしょうか、今お考えです。

○田島健一町長

昨日から、昨日でも企画財政課長も建設費そのものを回収するまではどうかなという思いで言ったと思いますけども、それはやはり気持ちの持ちよう、私たちは元金を取り戻すぞという気持ちでやっていかなくてはいけないだろうというふうに思っております。

それで、きのう久原久男議員のほうからも有沿との話もしていただきました。私は、きのうの時点ではーフインターの件は計画するかもわかりませんが、フルでお願いしたいという要望はしていくと言いましたけれども、有沿道路ができるのと、パークゴルフ、仮にこれが通らせていただいたとしたときに、これは来年のうちにできるわけでございますけども、この完成が早いということで、多分あそこを干拓地はですよ、パークゴルフとゴルフ場ということでスポーツの基地というふうになろうかと思っております。そうなった場合に、私はきのうは新拓の人たちは鹿島方面に行きんしゃろうというような言い方を、地元の人たちだけの目線で言ってしまったんですけど、それじゃなくて、お客さんが来るということを考えたときに、パークゴルフなりむつごろうカントリークラブのゴルフの方にしろ、鹿島から太良、長崎または嬉野の方面の人たちは百貫橋渡ったらすぐ有沿になる、やっぱり乗ってくるやろうと。そうやってきたときには、やっぱり鹿島方面への乗り入れは絶対必要だというふうに思うわけでございますので、これはまだまだ福富、鹿島道路については設計もまだされておられませんけども、これは私はできたとなればこれはもう積極的にしていかにやいかんやろうというふうに思っております。

いずれにしても、白石は皆さんたちの、また先人の人たちの努力もあって陸上とか駅伝それから剣道、いろんなスポーツ、佐賀県の中でもトップクラスでございます。ましてや、県体においても1位、2位というところでございますので、スポーツの町でございますので、とにかく食べ物でもいいですけど、いろんな面で白石町にお客さんに来てもらう、そして白石町が活性化できればなというふうに思っているところでございます。

そういうことで、最終的には草場議員のほうからありましたように、やっぱりコスト意識というとは、私たち役所も常に持つとかないかんというふうに思います。そういったことから、できた暁にはどうしたらいいかということは常に頭の中に入れながら運用をしていかないかんやろうというふうに思っているところでございます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○久原久男議員

きのうの質問、前向きな回答をいただいたと、そういうふうに思うわけですが、せっかくここにむつごろうカントリーの社長であられる副町長がおられます。その中で、只江川スポーツパークとしての構想の中にこのパークゴルフ場と、そしてまたゴルフ

場と、こういうふうな計画があるもんとか。また、今から先計画していくつもりあるもんか、この辺のことをお聞きします。

○百武和義副町長

今久原久男議員のほうから御紹介いただきましたように、町長にかわりましてむつごろうカントリークラブ、只江川スポーツパークの社長に御就任をさせていただきました。議員皆様方には大変お世話になると思います。どうぞよろしく願いいたします。

先ほどの久原議員の御質問に対しての答弁でございますけども、このパークゴルフ場完成した暁には、管理運営については一応スポーツパークのほうにお願いをしたいということで、町のほうは考えております。そういったことで、ゴルフ場とそれからこのパークゴルフ場と一体となった推進、例えば家族3世代来られて、お父さんはゴルフがよかと、お母さん、おじいちゃん、子供はパークゴルフがよかといったことで、いろんな世代があそこに来ていただくようなことを考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○久原久男議員

よろしく検討方お願いしたいというふうに思いますが、また、きのう、おとといだったですか、干潟体験という話がございました。これも子供たちの夢といいますか、非常に大事なことだというふうに思います。そういうことで、あの道路、私前からの一般質問でも申し上げておりましたが、樋門までの道路をもう少し1メートルなり、拡張をしていただいて、そういうふうな観光の開発につなげてもらえればというふうに思います。これは回答はいいです。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、質疑がないようですので、補正予算に伴います産業建設部門の質疑を終了します。

日程第8

○白武 悟議長

日程第8、議案第56号「平成27年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第56号「平成27年度白石町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)」について採決をします。本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第56号は原案のとおり可決されました。

日程第9

○白武 悟議長

日程第9、議案第57号「平成27年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第1号)」を議題とします。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第57号「平成27年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第1号)」について採決をします。本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第57号は原案のとおり可決されました。

日程第10

○白武 悟議長

日程第10、議案第58号「平成27年度白石町水道事業会計補正予算(第1号)」を議題とします。

質疑ありませんか。

○井崎好信議員

今回補正で2,000万円の計上をされております。これは先般の説明で路面復旧だというふうなことでお伺いしております。

路面復旧とは違うわけですが、今老朽管の工事なり、それぞれ各老朽管のところは、町内でも老朽管工事もなされておるかというように思います。先ほど突貫工事も今支線の埋設工事等もあってるようでございますが、そういったときにこの埋設を突貫で支線の工事をすると、水道工事も、水道管も埋設をされたところもあるわけです、と思います。本来そこが、老朽管工事としての計画が上がっていかなくても、二度手間にならないように突貫工事の埋設にあわせて水道管の老朽管なり、替えの工事をやっていらっしゃるのか。例えば、計画、そのときは突貫で埋めて、突貫の管は埋めて、水道管はそのままにして、またその時期が来たら、あと何年か先だ

けどもうそんなとき水道管はそのままにして、あとまたそこをするというなことをされておるのか。私が申し上げたいのは、ちょっとそういった業者の方からも話も聞くわけですが、今しとけばよかとけと、突貫工事あるとき、支線、老朽管もあるけんがそこも変えとつたらよかとけなあと、計画しちやられば、何年か先わからんもん、やっぱ二重手間っていいですか、そういったことも考えられるわけでございますので、その辺はどういった計画で水道管の埋設、老朽管の埋設です、されていらっしゃるのか、その辺をお尋ねをいたします。

○山口弘法水道課長

公共下水道と水道としなければいけないというところありますけれども、極力下水道工事をされることにつきましては二度手間にならないようにといたしますか、一緒にできるところは一緒にできるようにやっているところでございます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第58号「平成27年度白石町水道事業会計補正予算(第1号)」について採決をします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の議事日程は終了しました。

本日はこれにて散会します。

14時14分 散会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成27年9月16日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 片 渕 栄二郎

署 名 議 員 久 原 久 男

事 務 局 長 吉 岡 正 博